



LINE QRコード

活 學 (「活學を講ず」より引用) — 令和時代における「楓教育会」の使命 —

国土館大学楓教育会だより第12号
令和5年2月25日(土)発行
会長 田代和正



ホームページQRコード

令和4年度「合格体験報告会」開催！

— 「教職の国土館」と言われる^{ゆえん}所以が沢山あります！ —

令和4年12月13日(火)18:10~19:30、世田谷キャンパス34号館にて、約40名の学生・教職員の参加のもと、合格者6名による「合格体験報告会」が行われました。佐藤圭一学長は『先ず、敬意と祝意を申し上げます。今日の合格発表会は、合格に向けたさまざまなアイデア、創意工夫、味わい深い示唆が述べられます。まさに、「教職の国土館」と言われる所以(ゆえん)が沢山あります。さあ！3年生の皆さん、あなた方の出番です』と激励しました。



.....
○山梨県中学校理科教員採用選考試験を合格した理工学部理工学科のAさんは、後輩に先ずは「身近な仲間と一緒に学ぶこと、教職支援室の利用は欠かせない」とアドバイス。特に、論作文や面接練習は繰り返し練習することで精度が上がる」と述べました。



.....
○千葉県高等学校保健体育科教員採用選考試験を合格した文学部教育学科のBさんは、後輩に「3年生の夏休みから、学習指導要領(中高)、らくらくマスター、過去問(各々専門・教養)の5年分を2周。夏休み明けから11月までは過去問に対応している参考書、楽々を1周、さらに1月末までに専門・教養全ての範囲を1周。2月から教育実習を除いた130日ほどの60日を教養に、60日を専門に。教育実習後は全ての復習と全国版の過去問を」と学習プランの重要性を強くアドバイスしました。



.....
○東京都小学校教員採用選考試験を合格した文学部教育学科初等教育コースのCさんは、後輩に向けて、「勝負は二次試験対策」です。そのためには、先ずは教職支援室を活用する。次に「小論文対策(1000字)では構想メモから始める、何度も書き直すことで自分の型を探す。個人面接・集団討論・場面指導など受験者役・試験官役に分かれた面接練習会に参加する」ことで、二次試験対策の重要性を強くアドバイスしました。

○埼玉県中学校社会科教員採用選考試験を合格した文学部史学地理学科のDさんは、後輩に向けて、**「早く教職支援室に行ってください」**と話しました。次に、教育実習先の先生は**「準備をした人が勝つ」**。どれだけ自分を磨いたか、準備をしたかが問われるのが教員採用選考試験です。要は、努力と熱意が問われる試験です。学歴やキャリアは一切関係ありません。最後まで自分を信じて、最善の状態です試験に臨んでください」と述べました。

○埼玉県高等学校地理歴史科の教員採用選考試験を合格した文学部史学地理学科のEさんは、後輩に向けて、**「問題を解き、間違えたものをノートに書いてまとめる」**という**「自分だけの参考書」**を作ったとそのノートを参加者に見せてくれた。**「早く始める、大学の施設設備を利用する、チャンスを逃さない、仲間を作る、使命感を持つ」**ことを推奨し、図書館と教職支援室を活用して、集中力を鍛えてくださいと笑顔で激励しました。

○茨城県高等学校国語科の教員採用選考試験を合格した文学部文学科のFさんは、後輩に向けて、**「国語科教育法で、自分の授業のスタイルをつくった」**と述べ、「教職課程の授業を大切に」とアドバイスしました。具体的に、教職教養対策では「東京アカデミー・YouTube（教ゼミちゃんねる一ポカロでらくらく攻略教育法規）、協同出版・時事通信社の茨城県及び全国版を、専門科目・論作文対策では協同出版（茨城県版過去問）を活用して、「間違い個所のメッセージカードで実力アップを図った」と紹介しました。

辰野文理教職課程運営センター長は、「6名の報告者の後輩へ伝えたいという思いを受け止めてください。教職を目指す学生の皆さん、今日がスタートです」と感謝と激励の言葉を述べました。

総合司会の山室和也教職課程運営センター運営委員会委員長は、「2月25日（土）第1回面接練習・研修会を予定しています。奮って参加してください」と紹介しました。

令和4年度「赴任前実践力養成講座」開催！

—「教職の国士館」の魅力！先輩と後輩がともに学ぶ姿に感動！—

令和4年12月17日（土）13：30～15：15、世田谷キャンパス34号館にて、15名の学生及び現役の小中高等学校の3名の先生方（卒業生）を講師として、「赴任前実践力養成講座」を行いました。

教職課程運営センター運営委員会委員長山室和也教授は、「4月着任するまでに何をしたらよいか、皆さんの年齢に近い卒業生が講師として、アドバイスしてくれます。先輩の生の声を聞いて、頑張ってください」と激励しました。



開講式 山室和也教授挨拶

1: 学校現場で活躍する卒業生からの言葉

小学校：永瀬由香里先生（千葉県柏市立高柳小学校）

着任してからは、「①あいさつなど基本的マナーを武器に子どもたちの手本になろう。②分からないことだらけです。周りの先生を頼ろう、聞く癖を持つコミュ力が大事です。③からだを大切にしよう。教師は健康がポイントですよ」とアドバイスしました。



小学校グループ：永瀬先生を囲んで

中学校：千葉智哉先生（さいたま市立三橋中学校、国語科）
赴任前は、学校ボランティアとして週一回参加していた。とてもよかった。卒業論文、教材研究に努力した。赴任後、学期始めはドタバタでよく分からないほど時は過ぎるが教材研究が大事です。1週間ごとの週案、学年全体の動き・授業のビジョンなど準備をしっかりとし、見通しを持てるようにすることが重要です。さらに、学校はやることが一杯です。優先順位を決めましょうと強調しました。



中学校グループ：千葉先生を囲んで

高等学校：杉山秀樹先生（東京都立忍岡高等学校、保健体育科）

赴任までは、3月末まで、陸上競技部の外部指導員を通して、生徒とどう対応したらよいか学んだと学校ボランティアを勧めました。赴任して1年目は「私がやりますと一生懸命雑務でもこなすことが大事。自然に周りも助けてくれるようになります。安心してください」と強調しました。さらに、「1年目は教材研究が仕事です！生徒とは雑談ができることが大事」と心構えを示唆しました。



高等学校グループ：杉山先生を囲んで

2:教職支援アドバイザーからのアドバイス

教職支援アドバイザー 堀井仁先生は、赴任前の小学校グループの参加者に対し、以下のとおり、励ましの言葉を送りました。参考にしましょう。

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| (1)可愛がられる後輩になろう。 | (2)立ち振る舞いに気を付けよう (SNS など)。 |
| (3)お早うございますなど挨拶は、先手必勝で。 | (4)報告は早く、悪い情報ほど早くあげる。 |
| (5)友だち先生にはなるな、言葉遣いはていねいに。 | (6)合言葉「感謝の気持ちと向上心」 |
| (7)学級経営は縦系（掲示）と横系（人間関係）。 | (8)声を低くして語る（大声ばかり）が重要。 |
| (9)今日より明日、学び続ける教師に。 | (10)まずは、心身の健康あってこそ。 |

後輩へ 激励の言葉 —授業と部活動と教職勉強の3刀流—

令和4年度体育学部武道学科4年 澤田 幹太

この度、富山県龍谷富山高等学校の教員採用選考試験を受け、4月から高等学校保健体育科教員として働くこととなります。後輩への激励として、ささやかながら自分の経験を踏まえてアドバイスを送らせていただきます。

私は元々教員志望で大学に入ってきました。入学後は日中授業を受け剣道部で毎日朝練、夕練を四年間続けてきました。ぶっちゃけ1～3年生の時は授業と部活動の両立がやっとの状態で教員の勉強は疎かになっていました。4年生になり今後の進路を考えた際にたまたま同じ志を持った同級生と一緒に教職支援室に通うことになりました。そして日々の授業と部活動を続けながらも毎週火・水は教職支援室に通い教員採用試験の勉強に励みました。教職支援室の先生に面接練習や小論文の削除、試験対策等をみっちり見ていただきとても自分の中でプラスの経験となりました。7月の教員採用試験は残念ながら不合格でしたが、その後も教職支援室の先生が教職の勉強を親身になってご指導していただいたおかげで私は母校の先生から声を掛けていただき縁あって面接を受けることとなり、見事合格することができました。

① まずは行動に移してみよう！

今教員になろうとしている後輩へ、まずは自分が思ったことを行動に移してみてください。

今までは授業や部活動で時間がないと逃げていたかもしれませんが。しかし逃げていては何も起こりません。まずは自分のなりたい職業を考え、すぐに行動に移してみる事が大切です。

② 分からないことはすぐに聞いてみよう！

教員の勉強は沢山あります。志望する自治体の採用情報、試験形態、教育方針、教職教養、専門教養、一般教養、面接等色々あり、沢山分からない事が出ると思います。自分もそうでした。そんな時こそ教職支援室に通い先生方に助けを求めることも大切です。先生方は親身になって一緒に考えてくださいます。

ぜひ、教員になろうか迷っている人は行動に移して先生方に頼ってみてください。その行動力や探求心が、必ずや今後の自分にプラスになって帰ってくるはずですよ！！

最後に、教職支援室の先生方、最後まで教員に必要な知識や経験をご指導いただき本当にありがとうございました。

.....

楓教育会第「2回役員会」開催！

—卒業生の輪を広げよう！—

令和4年12月10日(土)14:00～、柴田会館「会議室」において、第2回役員会が開催された。足立和明副会長より、「楓教育会創立20周年記念事業、ご苦労様でした」と開会の言葉が寄せられ、田代和正会長より、「コロナ第7、8波の影響もあり、今年度も面接練習・研修会への講師依頼が出来ない状況が続いています。令和5年度は再開できるよう頑張ります」と述べられました。同窓会を代表して山内善司顧問は、「創立20周年、おめでとうございます。同窓会はコロナ禍を乗り越え、総会・理事会・ブロック会を開催しています。11/4、105周年式典では、4名の柔道部の卒業生など、大分県教員が全国大会で優勝し表彰され、剣道は北海道教員が全国大会で活躍しています。また、本学は新春箱根駅伝に出場します。同窓会は楓教育会を強力に支援して参ります」と挨拶を頂きました。

議題Ⅰの令和4年度事業について、田代和正会長より「新規事業として9/14(水)教採ガイダンスが行われ、12/17(土)赴任前実践力養成講座が行われます。本年度教採は、前年度より合格者が上増えました。課題は2次対策です。これからも「教職の国士館」の一翼を担う楓教育会でありますように支援して参ります」と報告され、承認されました。

議題Ⅱの令和5年度事業について、田代和正会長が提案し、「関東ブロックの開催、卒業生の若手会員の参加を促す手立て、教職志望の学生や卒業生に活用してもらえるホームページの充実策、同窓会東京支部と楓教育会が合同で協力できるよう進めたい。令和5年度より、楓教育会常任理事の工藤公彦氏、菅野潤一氏、清水真氏が教職支援アドバイザーとして着任する予定です」など協議・報告がなされ承認されました。

事務局より

全国都道府県の学校現場でご活躍の卒業生の皆さん、楓教育会は「教師になりたい学生」を支援する全国組織です。全国の教員採用選考試験対策情報、教員採用情報を大学教務課にお知らせください。会員並びに賛助会員を募集しています。ご支援ください。

国士館大学 楓教育会に係る連絡などは 田代和正会長
090-2409-4252 までお願いします。

注意：国士館大学楓教育会個人情報保護の方針に基づき、目的外利用を禁止します。